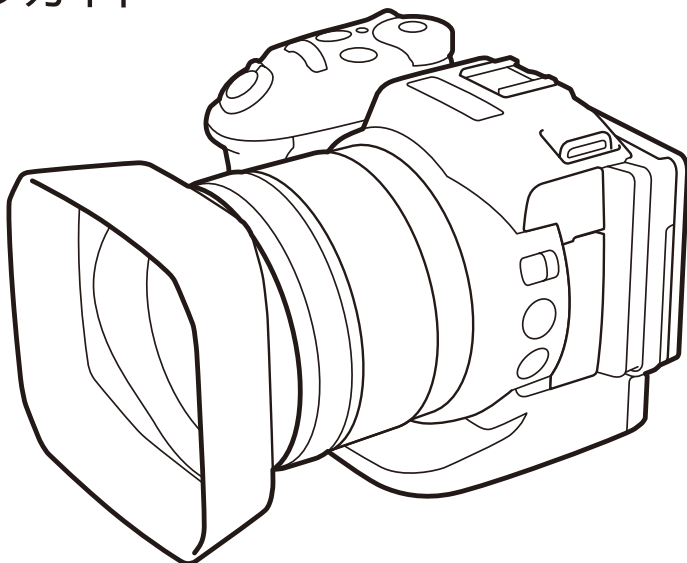


4K ビデオカメラ

XC10

クイックガイド



4K

MP4

XF-AVC

HDMI

WiFi
CERTIFIED

ビデオカメラの使用説明書（PDF形式の電子マニュアル）

本書では基本操作のみ説明しています。詳細についてはビデオカメラの使用説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

ビデオカメラの使用説明書をダウンロードするためには、下記の URL にアクセスします。

QR コードからダウンロードすることもできます。

なお、電子マニュアルを閲覧するには Adobe Reader が必要です。

www.canon.com/icpd

「Japan」を選んだ後、製品マニュアルのダウンロードページへ進んでください。



もくじ

- 4 商品を確認する
- 4 ビデオカメラの使用説明書 (PDF)について
- 5 各部の名称
 - 5 本体の名称
 - 10 ファインダーユニットの名称
 - 10 リモートコントローラー RC-6の名称
- 11 画面の見かた
 - 11 動画カメラモード時の画面表示
 - 13 静止画カメラモード時の画面表示
- 14 バッテリーを充電する
 - 14 バッテリーを充電する
- 17 カメラを準備する
- 18 カメラを操作する
 - 18 動画撮影または静止画撮影を切り換える
 - 18 撮影モードを切り換える
 - 19 タッチパネルで操作する
- 21 記録メディアを準備する
 - 21 CFastカードを入れる
 - 22 SDカードを入れる
- 23 日時を設定する
- 24 動画や静止画を撮影する
 - 24 準備する
 - 25 撮影する
 - 26 動画形式を選ぶ
 - 26 録画モードを設定する
- 27 クリップや静止画を再生する
 - 28 動画を再生する
 - 28 静止画を再生する

- 29 クリップや静止画を消去する
 - 29 再生一時停止中のクリップを消去する
 - 29 再生中の静止画を消す
- 30 外部モニターを接続する
 - 30 接続のしかた
- 31 クリップをパソコンに保存する
 - 31 Canon XF UtilityとCanon XF Plugin
 - 31 Data Import Utility
- 32 ネットワーク機能を使う
- 33 安全上のご注意
- 35 取り扱い上のご注意
- 39 主な仕様
- 41 商標について
- 42 保証書と修理対応
- 43 修理について

「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください(□ 33～38ページ)

商品を確認する

XC10には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



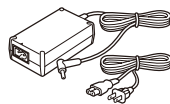
ビデオカメラ本体



レンズフード



ファインダーユニット
(ファインダーユニットカバー付き)



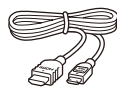
コンパクト
パワーアダプター
(ACアダプター) CA-570



バッテリーパック
LP-E6N
(保護カバー付き)



インターフェースケーブル
IFC-300PCU/S
(USBケーブル)



ハイスピードHDMI
ケーブルHTC-100/S



レンズキャップ



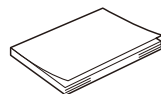
ショルダーストラップ



リモートコントローラー
RC-6




ボタン型リチウム電池
CR2032
(リモートコントローラー用)



クイックガイド(本書)

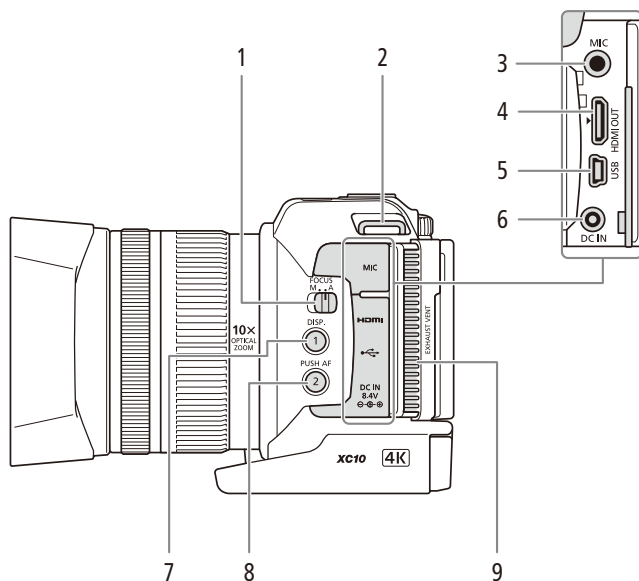
ビデオカメラの使用説明書(PDF)について

本クイックガイドは、ビデオカメラの基本的な使いかたについて説明しています。応用機能や使用上の注意事項を詳しく知りたいとき、「故障かな?」と思ったときやエラーメッセージが出たときは、ビデオカメラの使用説明書(電子マニュアル)をご覧ください。本クイックガイド内の  PDF で示したページは、使用説明書(電子マニュアル)内のページを示しています。

各部の名称

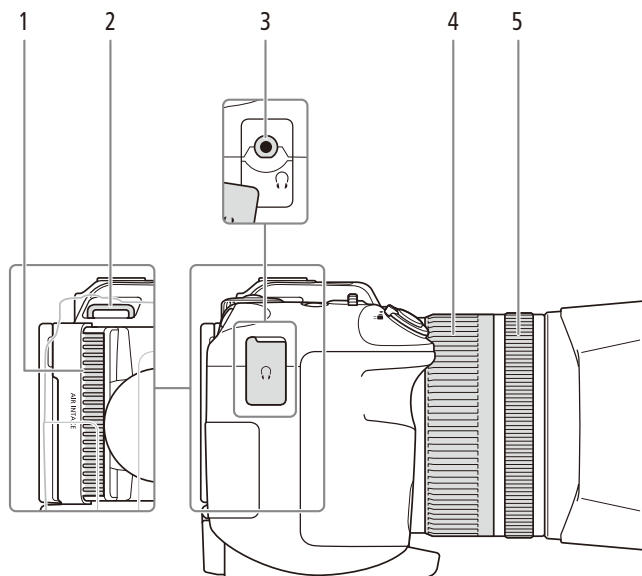
各部の機能と使いかたについては、▶ [PDF](#)に記載されているページをご覧ください。

本体の名称

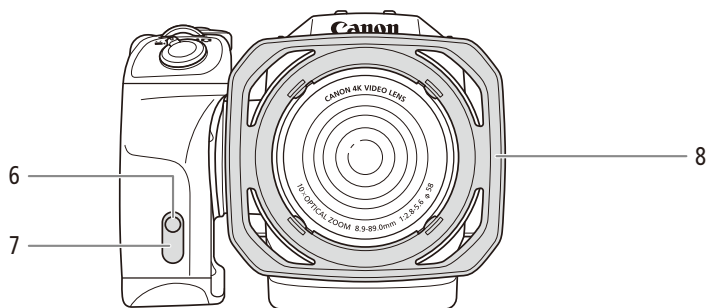


- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | FOCUS (フォーカス)スイッチ ▶ PDF 75 | 6 | DC IN 端子 ▶ PDF 18 |
| 2 | ショルダーストラップ取り付け部 ▶ PDF 26 | 7 | DISP. (ディスプレイ) /アサイン 1 ボタン
▶ PDF 114 |
| 3 | MIC (マイク)端子 ▶ PDF 89 | 8 | PUSH AF (プッシュ AF) /アサイン 2 ボタン
▶ PDF 114 |
| 4 | HDMI OUT 端子 ▶ PDF 134 | 9 | EXHAUST VENT (排気口) ▶ PDF 53 |
| 5 | USB 端子 ▶ PDF 100、140 | | |

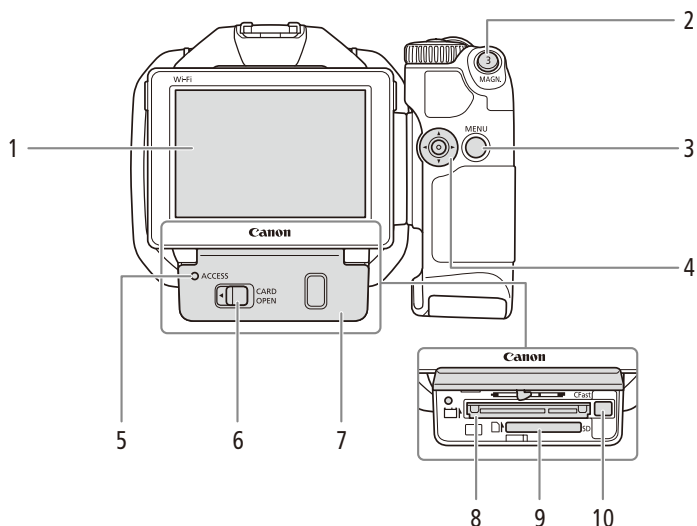
各部の名称



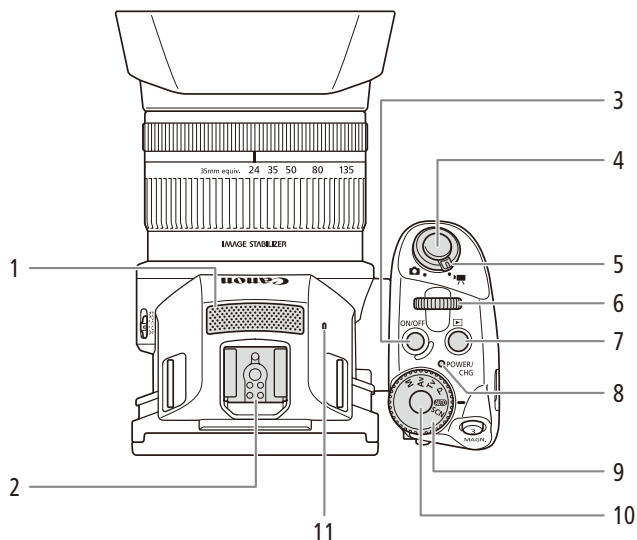
- 1 AIR INTAKE(吸気口) ▶ [PDF 53](#) 4 ズームリング ▶ [PDF 74](#)
2 ショルダーストラップ取り付け部 ▶ [PDF 26](#) 5 フォーカスリング ▶ [PDF 75](#)
3 Ω (ヘッドホン)端子 ▶ [PDF 98、123](#)



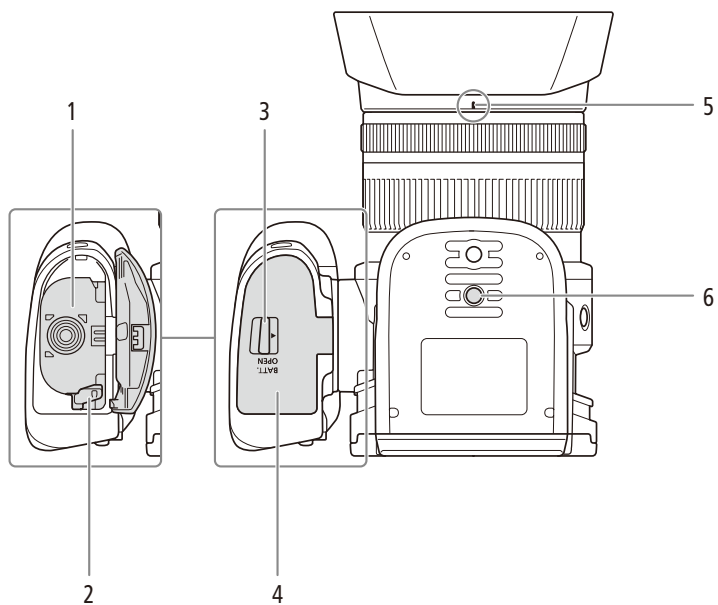
- 6 タリーランプ ▶ [PDF 171](#) 8 レンズフード ▶ [PDF 21](#)
7 リモコン受光部 ▶ [PDF 43](#)



- | | | | |
|---|--|----|---|
| 1 | 液晶画面 (タッチパネル) ▶▶ PDF ▶▶ 24、28 | 6 | CARD OPEN (カードカバー開く)レバー
▶▶ 21、22 |
| 2 | MAGN. (拡大) /アサイン3ボタン
▶▶ PDF ▶▶ 114 | 7 | カードカバー ▶▶ 21、22 |
| 3 | MENU (メニュー)ボタン ▶▶ PDF ▶▶ 30、32 | 8 | CFastカードスロット ▶▶ 21 |
| 4 | ジョイスティック ▶▶ PDF ▶▶ 30 | 9 | SDカードスロット ▶▶ 22 |
| 5 | ACCESS (アクセス)ランプ ▶▶ 21、22 | 10 | CFastカード取り出しボタン ▶▶ PDF ▶▶ 38 |



- | | |
|--|---|
| <p>1 内蔵マイク ▶▶ PDF▶ 89</p> <p>2 アクセサリーシュー ▶▶ PDF▶ 100、109</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 別売のGPSレシーバー GP-E2*、EOS用EXシリーズスピードライトなどを取り付けます。取り付けかたや使い方などは、本書に加えて、それぞれの説明書もご覧ください。 * GP-E2付属の接続ケーブルを使ってUSB端子に接続します。 <p>3 ON/OFF(電源)ボタン ▶▶ PDF▶ 46</p> <p>4 START/STOP(スタート/ストップ) / PHOTO(フォト)ボタン ▶▶ 25</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本書では、動画カメラモードのときは「START/STOPボタン」、静止画カメラモードのときは「PHOTOボタン」と呼びます。 | <p>5 動画/静止画切り換えレバー ▶▶ 18、25</p> <p>6 電子ダイヤル ▶▶ PDF▶ 56</p> <p>7 ▶(再生)ボタン ▶▶ 27</p> <p>8 電源ランプ / CHG(充電)ランプ ▶▶ 15</p> <p>9 モードダイヤル ▶▶ 18</p> <p>10 モードダイヤルロック解除ボタン ▶▶ 18</p> <p>11 内蔵スピーカー ▶▶ PDF▶ 123</p> |
|--|---|



1 バッテリー装着部 ▶ 14

2 バッテリーロック ▶ 16

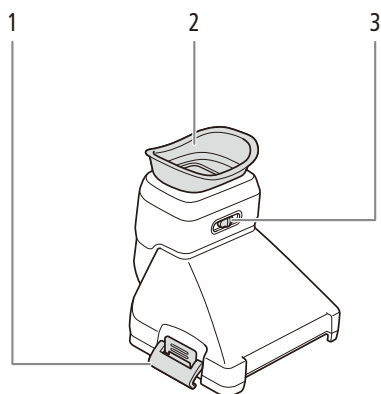
3 **BATT.OPEN**(バッテリーカバー開く)レバー
▶ 14、16

4 バッテリーカバー ▶ 14、16

5 フード取り付け指標 ▶ PDF 21

6 三脚ねじ穴 ▶ PDF 26

ファインダーユニットの名称

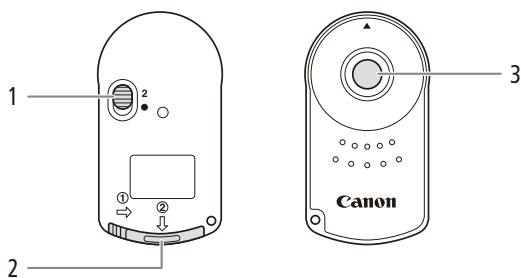


1 バックル ▶▶ [PDF](#)▶▶ 21

3 視度調整レバー ▶▶ [PDF](#)▶▶ 23

2 アイカップ

リモートコントローラー RC-6の名称



1 リリースモード切り換えスイッチ ▶▶ [PDF](#)▶▶ 42

3 送信ボタン ▶▶ [PDF](#)▶▶ 42

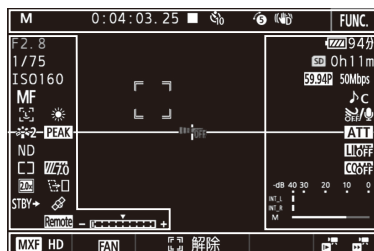
2 電池カバー ▶▶ [PDF](#)▶▶ 42

画面の見かた

動画カメラモード時の画面表示

カメラモード時に表示される情報です。[FUNC.]メニュー (PDF 113、163) やメニュー (PDF 166)、撮影モード (18) の設定状態によって表示が異なります。

動画カメラモードと静止画カメラモードで共通するアイコンについては、動画カメラモード時の画面表示で説明します。



画面上部



アイコン／表示	説明	PDF
M Av Tv P AUTO [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	撮影モード	56
0:00:00.00	タイムコード	86
● ■	撮影状況 ●：撮影中 ■：撮影停止中	45
0 0 0	セルフタイマー 撮影一時停止中の静止画記録のときは [] が表示される。	47、106
[]	ブレREC	104
[] [] []	手ブレ補正	83
[FUNC.]	[FUNC.]メニュー	113、163

画面左


アイコン／表示	説明	PDF
F0.0	絞り	56、58
1/0000	シャッタースピード	56、59
±0/0	AEシフト	67
*	EXPROCK	65

アイコン／表示	説明	PDF
ISO00000 00dB	ISO/ゲイン	56
ISO [] GAIN []	オートISOリミット/ AGCリミット	63
[AF] MF 00m	フォーカス	75
[]	フェイスキャッチ&追尾	81
[] [] [] [] [] []	ホワイトバランス	69
[] [] [] [] [] []	ルック	72
PEAK [] PEAK []	ピーキング	79
ND	NDフィルター	166
[] [] []	測光方式	68
[] [] [] []	ゼブラ	84
[20x]	デジタルテレコン	74
[] []	ローリングシャッター ひずみ軽減	167
STBY → REC →	記録コマンド	172
[]	GPS信号の受信状態 GPSレシーバー GP-E2 接続中、衛星未捕捉時 は点滅し、衛星を捕捉 すると点灯する。	100







画面の見かた









アイコン／表示	説明	PDF
	ブラウザーリモートアクセスポイントとして動作中は、画面に Remote が白色で表示され、ブラウザーリモート起動中、終了中はアイコンが黄色になる。	153
	露出バー	57

画面中央






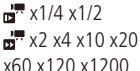
アイコン／表示	説明	PDF
	リモコンセンサー 切	42
	マーカー表示	84
	顔検出枠	81
	タッチ追尾枠	81

画面右

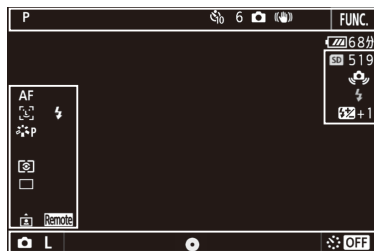
アイコン／表示	説明	PDF
	バッテリー残量と撮影／再生可能時間(分単位)の目安。  (赤色)は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。	—
	静止画記録。カードエラーのときは  (赤色)が出る。	47
	動画の記録先、記録可能時間(時、分)。メモリーカードに空きがなくなると、「 [CFast] END」(赤色)または「 [SD] END」(赤色)が出て、記録を停止する。	—
	ズームバー	74

アイコン／表示	説明	PDF
	録画モード	54
	ファイルフォーマット	—
	オーディオシーン	89
	内蔵マイクウィンドカット	92
	内蔵マイクアッテネーター、MICアッテネーター	93、95
	音声リミッター	97
	音声コンプレッサー	98
	レベルメーター	91

画面下部

アイコン／表示	説明	PDF
	動画形式	54
	高温警告内部温度が上昇すると  (黄色)が、本機を使い続けてさらに上昇すると  (赤色)が表示される。	183
	ファン	53
	スロー&ファストモーション記録	102

静止画カメラモード時の画面表示



画面上部

アイコン／表示	説明	PDF▶
	セルフタイマー	106

画面左

アイコン／表示	説明	PDF▶
	ホワイトバランス	69
	ロック	72
	測光方式	68
	ドライブモード	48
	ポジション検出	107

画面右

アイコン／表示	説明	PDF▶
	静止画記録先、記録可能枚数	46
	ストロボ ストロボ設定 ▶ 「調光補正」で補正量を調整したときは、補正量の値が表示される。	109
	手ブレ警告 画面に が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。	—

画面下部

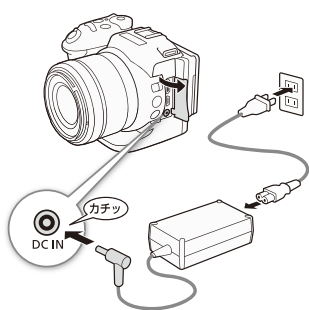
アイコン／表示	説明	PDF▶
	静止画サイズ	48
	インターバル記録	105
	PHOTOボタンを半押しした時に、動作によって●の点滅/点滅、色が変わる。 緑色：点灯 ● AF時：ピント、露出をロックしている ● MF時：露出をロックしている 黄色：点滅 ● ピントが合っていない AF時にピントが合った状態でズーム操作をすると、緑色点灯から黄色点滅に変わる。 白色：点滅 ● ピントを合わせている動作中。	—
	拡大表示	80

Step 1

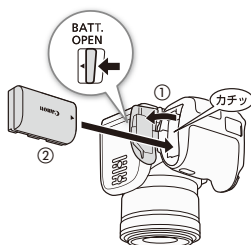
バッテリーを充電する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) をつないで使用できます。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

バッテリーを充電する

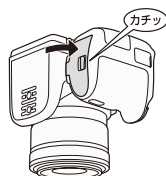


- 1 イラストの手順に従って、コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) をコンセントにつなぐ

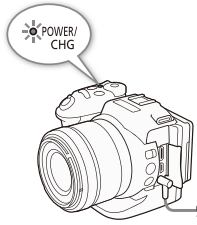


- 2 BATT.OPEN(バッテリーカバー開く)レバーを矢印の方向に押し、バッテリーカバーを開け (①)、電池接点の方からバッテリーを入れる (②)

● 「カチッ」と音がするまでしっかりと入れる。



- 3 「カチッ」と音がするまでバッテリーカバーを押して閉じる



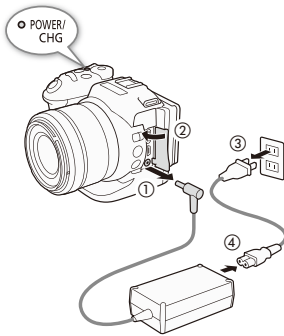
4 電源OFFで充電開始

赤く点灯

点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(PDF 182)をご覧ください。

5 点灯 ▶ 消灯で充電終わり

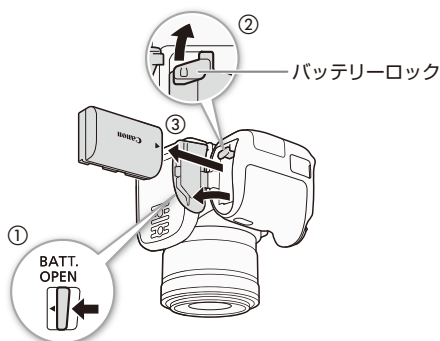
6 イラストの手順に従って、コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) をはさず



バッテリーを充電する

バッテリーを取り外すとき

BATT.OPEN (バッテリーカバー開く) レバーを矢印の方向に押ししてバッテリーカバーを開け (①)、バッテリーロックを押して (②) バッテリーを取り出す (③)。



ご注意

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、ACアダプターを固定して使用しないでください。

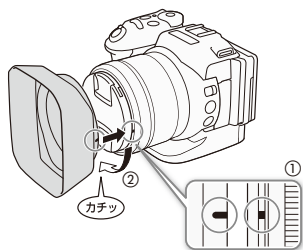


- 別売のバッテリーパックLP-E6は本機では充電できません。バッテリーパックの底面に記載されている型番を確認して、LP-E6Nを使用してください。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃(使用温度)の範囲外の場合は、充電に時間がかかることや、充電ができないことがあります。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG(充電)ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は、[PDF](#) 204ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 付属バッテリー LP-E6Nの充電時間は約240分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャー LC-E6を使うと約150分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、[PDF](#) 196ページをご覧ください。



Step 2

カメラを準備する

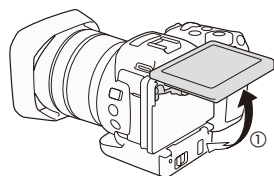
**1** レンズフードを取り付ける

レンズ先端部にフードをはめ込み、目印が真下に来るように取り付け (①)、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す (②)

- フードの先端を軽く持って取り付ける。強く握ると変形して、取り付け/取り外しにくくなる。
- レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付ける。

レンズフードを取り外す

フードを反時計回りに回す。

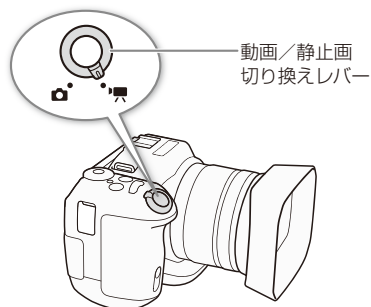
**2** 液晶画面の角度を調整する




液晶画面を手前に引き出し、見やすい角度に調整する (①)

Step 3

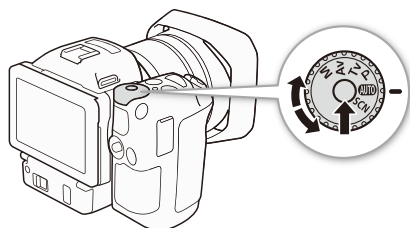
カメラを操作する


動画撮影または静止画撮影を切り換える


















動画を撮影するときは動画／静止画切り換えレバー（ 8）を「（動画カメラモード）」に、静止画を撮影するときは動画／静止画切り換えレバーを「（静止画カメラモード）」に合わせます。

撮影モードを切り換える



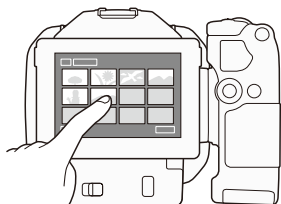
モードダイヤルで撮影時のモードを切り換えます。切り換えるときは、ダイヤルの中央のモードダイヤルロック解除ボタン（ 8）を押しながら、モードダイヤルを回します。

- | | |
|---------------------|--|
| M マニュアル露出 | 絞り、シャッタースピード、ISO/ゲインの3種類を自由に設定できます（  PDF 56）。 |
| Av 絞り優先AE | 絞りを設定します（  PDF 58）。 |
| Tv シャッター優先AE | シャッタースピードを設定します（  PDF 59）。 |
| P プログラムAE | シャッタースピード、絞り、ISO/ゲインを自動で設定します（  PDF 60）。 |
| AUTO オートモード | ビデオカメラにおまかせで撮影できます（  PDF 60）。 |
| SCN シーンモード | 場所や被写体に合わせて撮影できます（  PDF 61）。 |
- | | |
|--|---|
|  ポートレート |  スポーツ |
|  夜景 |  スノー |
|  ビーチ |  夕焼け |
|  ローライト |  スポットライト |
|  打上げ花火 | |

タッチパネルで操作する

液晶画面（タッチパネル）を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。

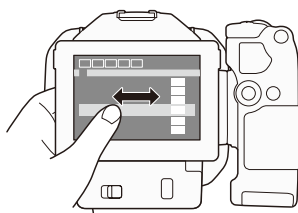
タッチ



画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

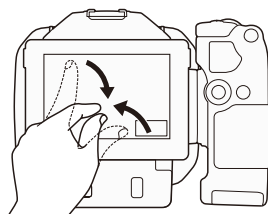
ドラッグ



画面を押したまま左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

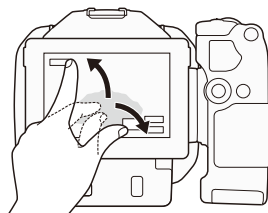
ピンチイン




2本の指で画面を押さえ、指の間隔を狭めます。

- 動画／静止画再生中（ 27）に、ピンチインすると、再生インデックス画面に戻ります。

ピンチアウト



2本の指で画面を押さえ、指の間隔を広げます。

- 再生インデックス画面（ 27）でピンチアウトすると、動画／静止画の再生を開始します。
- 再生中の静止画を拡大します。ピンチインで縮小します。




カメラを操作する



- タッチパネルは静電容量方式です。次の場合はタッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - 爪先やボールペンなどがったもので操作をしたとき。
 - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
 - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
 - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。


Step 4

記録メディアを準備する

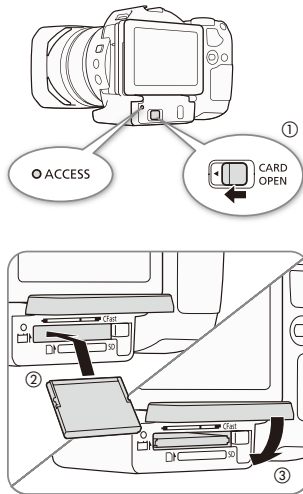
本機では、4K動画をCFastカードに、HD動画と静止画をSDメモリーカード（）／SDHCメモリーカード（）／SDXCメモリーカード（）に記録します。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）してください。

使用可能なメモリーカードや初期化の詳細については、ビデオカメラの使用説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

記録メディアを準備する  PDF▶ 36

初期化する  PDF▶ 40

CFastカードを入れる

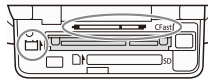


1 ACCESS(アクセス)ランプが消えていることを確認する

2 CARD OPEN(カードカバー開く)レバーを◀方向にスライドさせる (①)

- カードカバーが上に開く。

3 CFastカードスロットに印刷されているCFastカードコネクターの形状に合わせてカードを奥までしっかり入れる (②)



4 カードカバーを閉じる (③)

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



❗ ご注意

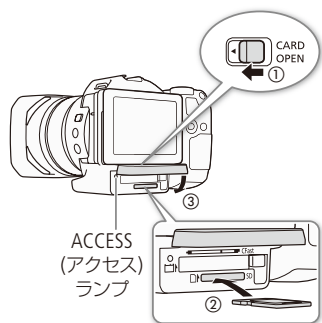
- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。本体の電源を入れたままカードの出し入れをすると、故障の原因となることがあります。
- ACCESS(アクセス)ランプが赤色に点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。

記録メディアを準備する

ACCESS(アクセス)ランプの光りかた

	カードスロットの状態
点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない

SDカードを入れる



- 1 ACCESS(アクセス)ランプが消えていることを確認する
- 2 CARD OPEN(カードカバー開く)レバーを ◀ 方向にスライドさせる (①)
 - カードカバーが上に開く。
- 3 カードのラベル面を上側にして、カチッと音がするまでしっかり入れる (②)
- 4 カードカバーを閉じる (③)
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。本体の電源を入れたままカードの出し入れをすると、故障の原因となることがあります。
- ACCESS(アクセス)ランプが赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。



誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にする、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

ACCESS(アクセス)ランプの光りかた

	カードスロットの状態
点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない

Step 5

日時を設定する

はじめにお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておく、現地時間で記録できます(☞PDF) 170)。

1 ON/OFF(電源)ボタンを押す

- 電源ランプが緑色に点灯。
- はじめて電源を入れると「日付/時刻」設定画面が出る。

2 日時を設定する

- ① 項目(年月日時分)をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
 - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
 - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ 「OK」をタッチする

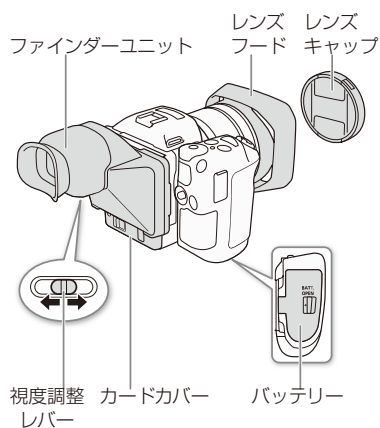


MEMO

- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます(☞PDF) 170)。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください(☞ 37)。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を使用すれば、GPSから得られる時刻情報を本機に自動設定することもできます(☞PDF) 100)。
- ジョイスティックを使って操作することもできます(☞PDF) 30、31)。

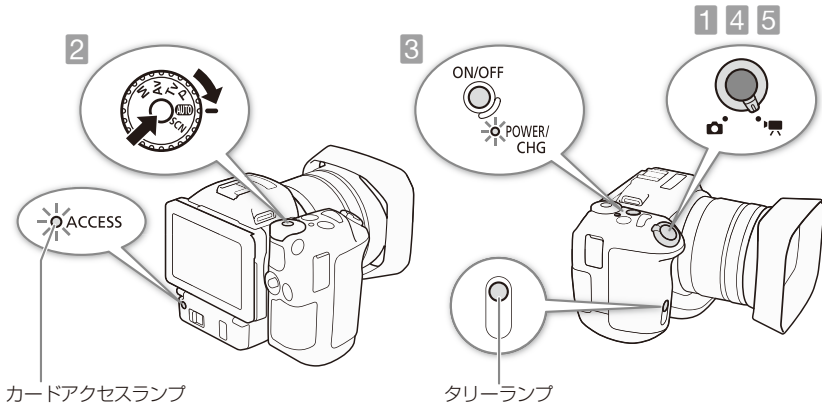
動画や静止画を撮影する

準備する





- 1 レンズキャップを外す
- 2 レンズフードや、ファインダーユニットを取り付ける (☞PDF▶ 21)
- 3 充電したバッテリーパックを取り付ける (📖 14)
- 4 記録メディア (CFastカード、SDカード)を入れる (📖 21、22)
 - 4K動画 (MXF) を記録するときはCFastカードを、HD動画 (MXF、MP4) や静止画を記録するときはSDカードを、各スロットに入れる。
- 5 ファインダーユニットを使用するときは、視度を調整する (☞PDF▶ 23)

撮影する



1 動画または静止画を選ぶ





- 動画/静止画切り換えレバーを、動画のときは「」、静止画のときは「」に切り換える。

2 モードダイヤルで撮影モードを切り換える ( 18)

3 ON/OFF(電源)ボタンを押す





- 電源ランプが緑色に点灯する。

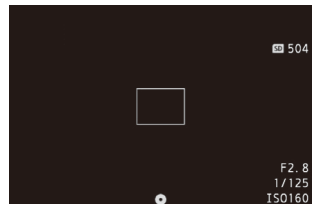
4 動画を撮影するとき START/STOPボタンを押す

- 撮影が始まる。タリーランプが点灯し、画面の  が  に変わる
- リモコン(付属)で操作するときは、送信ボタンを押す ( PDF 43)。
- 動画撮影中でも静止画を記録できる ( PDF 47)。



静止画を撮影するとき PHOTOボタンを押す

- AF時、PHOTOボタンを浅く押すと、ピント合わせが行われ、「フォーカス優先」( PDF 76)で設定したAF枠が表示される。ピントを確認して、PHOTOボタンを深く押す。
- 「」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。
- 記録する静止画のサイズを選ぶことができる ( PDF 48)。
- リモコン(付属)で操作するときは、送信ボタンを押す ( PDF 43)。



動画や静止画を撮影する

5 動画の撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がメモリーカードに記録される。
- * 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。また、MXF形式のクリップを「MXFクリップ」、MP4形式のクリップを「MP4クリップ」と呼びます。

6 ON/OFF(電源)ボタンを押して、電源をOFFにする

- ACCESSランプが消えていることを確認する。
- 電源を切るときは、電源ランプが消えるまで、ON/OFF(電源)ボタンを押し続ける。



ご注意

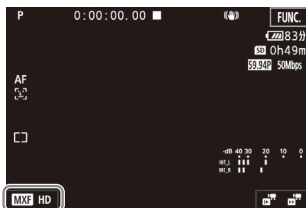
- ACCESS(アクセス) ランプが赤色に点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります
 - カードカバーを開けて、メモリーカードを取り出さない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。



MEMO

- カメラに内蔵されたマイクにより、撮影中の操作音やカメラの作動音なども一緒に録音されることがあります。なお、市販の外部マイクを使用すると、これらの音を録音しないように(低減)することができます。

動画形式を選ぶ



- ① 画面の **MXF 4K**、**MXF HD** または **MP4 HD** をタッチする。
(PDF 54)。
 - MENU > 1 記録設定 > 「動画形式」でも設定できる。
- ② 4K動画(MXF)を撮影するときは「**MXF 4K動画**」を、HD動画(MXF)を撮影するときは「**MXF HD動画**」、HD動画(MP4)を撮影するときは「**MP4 HD動画**」をタッチする。
- ③ ◀ または ✕ をタッチする。

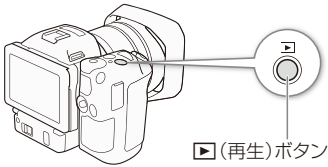
録画モードを設定する



- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 記録設定 > 「**MXF 4K録画モード**」、 「**MXF HD録画モード**」または「**MP4 HD録画モード**」で録画モードをタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。
- ④ ✕ をタッチする。

クリップや静止画を再生する

電源OFF時に[▶] (再生) ボタンを長押しすると、本機が再生モードで起動し、メモリーカードに記録されているクリップや静止画のサムネイル (縮小画) がインデックス画面に表示されます。

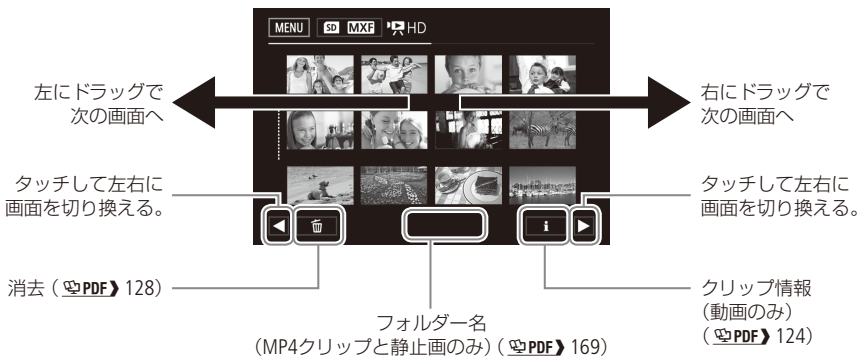


1 ▶ (再生) ボタンを長押しする

- インデックス画面が表示される。
- もう一度 (▶) (再生) ボタンを長押しすると、カメラモードに切り換わる。

2 インデックス画面を切り換える

- ① [SD] [MXF] をタッチする。
 - ② 切り換えたいインデックス画面をタッチする。
 - 選んだインデックス画面に切り換わる。
- [cFast] [MXF] 4K動画： 4K撮影したクリップのサムネイル (縮小画) を表示する。
- [SD] [MXF] HD動画： HD (MXF) 撮影したクリップのサムネイル (縮小画) を表示する。
- [SD] [MP4] HD動画： HD (MP4) 撮影したクリップのサムネイル (縮小画) を表示する。
- [SD] 静止画： 静止画のサムネイル (縮小画) を表示する。



クリップや静止画を再生する

動画を再生する

クリップをタッチする

- 再生が始まる。
- タッチしたクリップの再生が終わると、インデックス画面の最後のクリップまで自動的に再生される。
- 画面をタッチしたり、DISP.ボタンを押したりすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。

再生を終えるとき

画面をタッチして、■(停止)ボタンを押す。

- インデックス画面が表示される。

静止画を再生する

静止画をタッチする

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 左右にドラッグすると次または前の静止画に切り換わる。ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。
- 画面をタッチしたり、DISP.ボタンを押したりすると、操作ボタンや撮影情報が出る。



ご注意

- ACCESS(アクセス)ランプが点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。



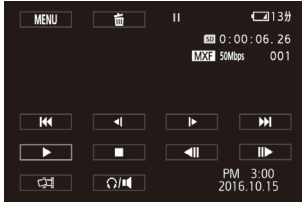
MEMO

- クリップが切り換わるときに映像と音声途切れることがあります。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

クリップや静止画を消去する

クリップや静止画を消去できます。

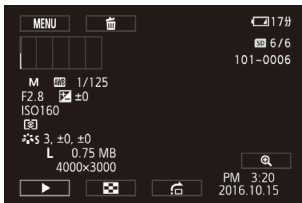
再生一時停止中のクリップを消去する



- 1 クリップ再生中 画面をタッチ ▶ **||**をタッチする
 - 再生が一時停止する。

- 2 消去する
 - 画面をタッチ ▶ 「はい」 ▶ **OK**をタッチする。
 - インデックス画面が表示される。

再生中の静止画を消す



- 1 静止画再生中 画面をタッチする
 - 操作ボタンが出る。

- 2 消去する
 - 画面をタッチ ▶ 「実行」 ▶ 「はい」をタッチする。
 - 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

- 3 **×**をタッチする。



- 一度消去したクリップや静止画は元に戻りませんので、消去する前にクリップや静止画を確認してください。
- 大切なデータはあらかじめバックアップしてください。

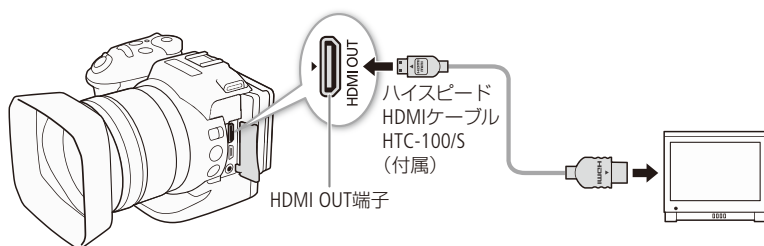


- クリップや静止画を選んで消すこともできます(PDF▶ 128)。

外部モニターを接続する

接続のしかた

本機と外部モニターを接続します。



MEMO

- コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- Wi-Fiによるネットワーク機能([PDF](#) 143) 使用中は、HDMI OUT端子から映像や音声は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。
- **3** カメラ設定 > 「Rolling Shutterひずみ軽減」を「入」にして撮影を開始すると、HDMI出力は停止します([PDF](#) 167)。

クリップをパソコンに保存する

Canon XF UtilityとCanon XF Plugin

記録したMXF形式のクリップをパソコンに取り込む場合、Canon XF UtilityまたはCanon XF Plugin*を使用します。Canon XF UtilityまたはCanon XF Pluginを使って、クリップをパソコンに取り込むときは、カードリーダーを使用します。

これらのソフトウェアは、以下のキャノンのホームページからダウンロードしてインストールします(☞PDF) 135 ~ 139)。ソフトウェアの動作環境や最新の情報については、キャノンのホームページをご覧ください。

* Avid社またはApple社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。

canon.jp/prodv

Canon XF Utility

クリップをパソコンへ保存・確認・再生・管理、クリップから静止画の切り出しを行うソフトウェア。

Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access (Windows用 / Mac OS用)
Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer (Windows / Mac OS)から、記録したクリップを直接読み込むことができる。

Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Final Cut Pro X (Mac OS用)
ノンリニア編集ソフトウェアFinal Cut Pro Xから、記録したクリップを直接読み込むことができる。

Data Import Utility

記録したMP4形式のクリップをパソコンに取り込む場合、Data Import Utilityを使用します。クリップをパソコンに取り込むときは、カードリーダーを使用します。

Data Import Utilityは、株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、株式会社ピクセラのウェブサイトをご覧ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_biz.html

Data Import Utilityの使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル) をご覧ください。

ネットワーク機能を使う

本機にはインフラストラクチャーとカメラアクセスポイントの2つの接続方式があります。お使いになる機能によってWi-Fi接続方式が異なります。

接続設定や機能の詳細については、ビデオカメラの使用説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

ネットワークの接続設定をする（[PDF](#) 143）

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	Wi-Fi		📖
		インフラストラクチャー *1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器のブラウザーから本機をリモート操作して撮影する。	—	●	PDF 153
ブラウザープレビュー	撮影したMP4クリップや静止画を、ネットワーク機器のブラウザーで再生／保存する。	—	●	PDF 159
メディアサーバー	撮影したMP4クリップや静止画を、パソコンなどで再生する。	●		PDF 161

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。

*2 本機がアクセスポイントの動きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。本機がアクセスポイントの動きをして、スマートフォンなどのWi-Fi機器と直接接続する方式。

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

▶▶ **バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く**
そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（☎ 43）にお問い合わせください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。▶ **火災 感電 けが**

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。▶ **感電**

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
▶ **感電**

ぬらさない。▶ **火災 感電 やけど**

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

▶ **皮膚の損傷 失明 発火**

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

▶ **発熱 感電 火災 けが**

強い衝撃や振動を与えない。

▶ **火災 やけど けが**

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。

▶ **火災 感電**

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーやボタン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。▶ **やけど けが**

バッテリー端子部に金属のキーホールダーやヘアピンなどを接触させない。

▶ **やけど けが**

ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中、長時間にわたる接触をしない。

▶ **低温やけど**

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。▶ **火災 感電 けが**

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

▶ **火災 感電 やけど**

内部にほこりや水などが入るおそれあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

▶ **火災 やけど けが**

発熱や破裂のおそれあり。

運転中に使用しない。▶ **交通事故**

不安定な場所に置かない。▶ **けが**

落下、転倒のおそれあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。

▶ **感電 けが**



禁止



禁止



禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。▶ **火災**

内部に熱がこもるおそれあり。

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。▶ **事故**

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

ファインダーユニットで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

▶ **失明**



強制

指定された機器を使う。▶ **火災 感電 けが**

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。▶ **火災**

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

▶ **火災 感電**

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。▶ **火災 感電**

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。▶ **火災**

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。▶ **けが 交通事故**



注意 傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。



禁止

ボタン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。▶ **やけど**

発熱の恐れあり。

使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用しない。▶ **事故**

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となることがある。



強制

バッテリー、ストラップなどは脱落しないように確実に取り付ける。▶ **けが**

バッテリーを取り外すときは、落とさないように気をつける。▶ **けが**

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部位より**22cm**程度以上離して使用する。

電波により機器類の動作に影響をあたえるおそれあり。



強制

コード類は、つまずかないように配置する。

▶ **けが**

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにカメラ修理受付センター（☎43）にご相談ください。

強い磁気が発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声か乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーユニットを向けない

ビデオカメラやファインダーユニットを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーユニットの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。ファインダーユニットを使用しないときはファインダーユニットカバーを取り付けてください。

液晶画面を...

つかんでもちあげない → 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない → 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

Wi-Fi機能について

使用可能な地域について

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみ使用いただけます。国外ではご使用になれません。

電波に関するご注意

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

取り扱い上のご注意

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

2.4 DS/OF 4

この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

● 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

● 36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。

● 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

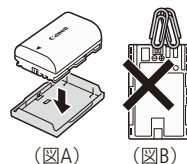
■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

保管するときは保護カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず保護カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。



正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

使用時間を長くするコツ

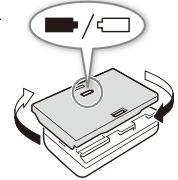
こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを充電してください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

充電済みのバッテリーに付属の保護カバーを取り付けるときは、バッテリーの青いシールに保護カバーの窓が重なるようにします。使用済みのバッテリーのときは、180度回して取り付けます。これを利用して保護カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。



海外で充電するときは

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター (AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応) を使ってそのまま充電できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ メモリーカード

データはバックアップする

ビデオカメラ本体/メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。


取り扱い上のご注意

充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② コンパクトパワーアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化／初期化（ PDF）40）を行った後、本機にレンズキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

付属の電源コードは本製品のみを使用する

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。

■ ボタン型リチウム電池（CR2032）

ボタン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

 システム設定 ▶ 「認証マーク表示」で、本機が対応している認証マークの一部を確認できます。



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

主な仕様

ここでの記載は本機の仕様を抜粋したものです。詳細については「主な仕様」(PDF 201)をご覧ください。

XC10本体

システム	
記録メディア	4K動画： CFastカード HD動画/静止画： SD / SDHC / SDXCメモリーカード* * 設定データの保存/読み込みにも使用。
記録時間 (連続記録時の目安)	4K動画： 64 GB CFastカード (305 Mbps, 205 Mbps)：約25分、約40分 128 GB CFastカード (305 Mbps, 205 Mbps)：約55分、約80分 HD動画 (MXF)： 16 GB SDカード (50 Mbps, 35 Mbps)：約40分、約60分 32 GB SDカード (50 Mbps, 35 Mbps)：約80分、約120分 HD動画 (MP4)： 16 GB SDカード (35 Mbps)：約60分 32 GB SDカード (35 Mbps)：約120分
電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.2 V (バッテリーパック)、DC 8.4 V (DC IN)
消費電力	4K録画モード 29.97P / 305 Mbps : 6.2 W HD録画モード (MXF) 59.94P / 50 Mbps : 5.7 W HD録画モード (MP4) 59.94P / 35 Mbps : 5.7 W いずれも液晶画面の明るさ標準
動作温度	0 °C ~ +40 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	本体：約 125×102×122 mm 約 131×115×238 mm (ファインダーユニット、レンズフード含む)
撮影時総重量	約1040 g (レンズフード、LP-E6N、SDカード、CFastカード含む)
本体質量	約930 g

主な仕様

■ 静止画の記録可能枚数の目安

撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。

静止画サイズ	記録可能枚数	
	16 GB	32GB
L 4:3 4000×3000	2150枚	4300枚

■ バッテリーの充電時間/使用時間の目安

充電時間の目安

バッテリーの充電時間の目安

付属のバッテリーパックLP-E6Nの充電時間の目安は次のとおりです。

充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

	コンパクトパワーアダプター CA-570	バッテリーチャージャー LC-E6
充電時間	約4時間	約2時間30分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

使用時間の目安

動画形式		録画モード	連続撮影時間	実撮影時間
4K	MXF	29.97P / 305 Mbps	約1時間50分	約1時間15分
		59.94P / 50 Mbps	約2時間	約1時間15分
HD	MP4	59.94P / 35 Mbps	約2時間	約1時間15分

■ 別売アクセサリについて

本機にはさまざまな別売アクセサリがあります。

詳細については、「アクセサリ紹介」(PDF) 200をご覧ください。

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- キヤノンは、様々な国/地域で登録されている CFast 2.0™ 商標の公認ライセンスラーです。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Mac OS、Final Cut Pro、App Storeは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Avid、Media Composer、米国および/またはその他の国におけるAvid Technology, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- 本書で使用している「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味します。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial

purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

XC10は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

■ 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター(☎43)にお問い合わせ頂るか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害(録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等)については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。
- 購入年月日、型名「XC10」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。
- ご自宅にいながら修理申込みができる「らくらく修理便（引取修理サービス）」をご利用いただけます。キヤノンサポートページの「修理のお問い合わせ・お申込み」→「キヤノン製品を、快適に、安心してお使いいただくために。」→「らくらく修理便」をご覧ください。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077 (全国共通)

9:00～18:00（1月1日～1月3日を除く）

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用にならない場合は、**043-211-9316**をご利用ください。



DIJ0433001

ビデオカメラの使用方法や Data Import Utilityに関する ご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90004 (全国共通)

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9790
をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによっ
てつながらないことがあります。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確か
めて、購入店よりお受け取りください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

キヤノン業務用デジタルビデオカメラ ホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開
設しています。最新の情報が掲載されておりますの
で、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄り
ください。

デジタルビデオカメラ製品情報
canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■本書の記載内容は2016年6月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することが
あります。ご了承ください。最新の使用説明書に
ついては、キヤノンのホームページなどでご確認
ください。



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクル
にご協力ください。